

日時：2016年7月17日（日）13：00～13：30

場所：創価大学 S202 教室

出席大学：出席校数 74 校、委任状 71 校

司会：小山将史事務局次長（日本工業大学）

開式の辞

1 会長挨拶

馬場善久会長（創価大学学長）より、会長挨拶が行われた。

2 資格審査報告

所澤潤事務局次長（東京未来大学）より、会員校 165 校のうち、本日の出席は 74 校、委任状は 71 校で合計 145 校となり、関私教協会則第 7 条に定めた「総会は全会員校の 2 分の 1（委任状含む）の出席をもって成立」を満たしており、総会が成立した旨の報告があった。

3 議長団選出

出席者から、自薦・他薦の候補がなく、事務局から横田雅史氏（帝京平成大学）および尾高進氏（工学院大学）を議長としたい旨の提案があり、これが承認された。

4 議事

(1) 第 1 号議案 会則の一部改正について

鈴木将史事務局長（創価大学）より、一般社団法人全国私立大学教職課程研究協会（全私教協）が法人化に合わせ年会費を値上げしたことに伴い、関私教協としても年会費を変更する件について、議案書に基づき報告がなされ、これが承認された。

(2) 第 2 号議案 会長校輪番表の作成について

鈴木事務局長より、2017 年度以降の会長校について、今年度の定期総会で輪番表の作成が承認されたことを受け、第 3 回幹事校会で決定した手続きにしたがい決定することが議案書に基づき提案され、議長団立会いのもと行われた抽選の結果、以下の大学が今後の会長校として決定した。

2017-2018 年度会長校 北里大学

2019-2020 年度会長校 学習院大学

2021-2022 年度会長校 東京理科大学

2023-2024 年度会長校 桜美林大学

2025-2026 年度会長校 千葉工業大学

なお、事務局長より、事情により会長校を担当できない場合には、個別に他の会員校に交渉の上、会長校を交代することが可能であることが確認された。

また、議長より、会長校の引継ぎを円滑に進めるため、会長予定校は就任の前年度から幹事校会に参加することが提議された。これについては今後、会長予定校と相談の上、時期を見て実施することが確認された。

一方、フロアより、会長校ならびに幹事校会の負担を軽減するため、現在年2回行われている研究懇話会を年1回にすることについて提起された。これについては、来年度定期総会までに幹事校会ならびに研究部で検討することが確認された。

更に、フロアより、教員養成課程を取り巻く環境の変化が著しくなっていることから、活発に研究会を開催していく方が望ましいという主張とともに、幹事校会の情報公開など、ホームページの更なる充実を要望する意見が出された。これについて事務局長から、現在ホームページの充実を進めており、近々そのような体制が整う予定であることが報告された。

5 議長団解任

全ての議事が終了したため、議長団が解任された。

閉式の辞